

由利八之止 （ゆり やすし） 政治家。文政十一年十一月十一日（越前國足羽郡毛矢  
生乳、明治四十一年四月二十八日歿（八二元―一九〇元）。舊二面、字義由、  
幼名石五郎、道釋二面八郎。號好々庵、方外、鏡牛、雲軒。維新政權  
下の徴士・參與となり、御用金取扱方として維新財政を擔當。明治四  
十年東京府知事、翌年岩倉具視の遣外使節團に隨行。元老院議員、貴族  
院議員歴任。子爵。「五箇條御誓文」の起草起業者として有名。  
芳賀八瀨著 由利八之止（明治二十五年）一月十五頁芳賀八瀨刊、八尾  
書庄（賣捌）がらみ。

